

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	公園管理運営事業			会計区分	1	一般会計	所管部署	都市整備課													
				予算科目	8	款					5	項	2	目	土木費						
事業番号	3750			事業区分	政策的事業【任意】			重要事業	シート入力	R	4	年度	R	5	年度	R	6	年度			
評価の種別	☒ 詳細評価			☐ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）																	
総合計画での 位置づけ	基本目標		快適空間都市の創造																		
	基本施策		住みやすい都市空間づくり																		
根拠法令等	都市計画法、伊予市公園条例																				
関係する計画等	伊予市国土強靱化地域計画、伊予市都市公園施設長寿命化計画																				
事業の目的 【ゴール】	対象	都市公園及びその他の公園の施設利用者																			
	意図	だれもが快適に住みやすい環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行う。																			
事業内容 【アクティビティ】	都市公園及びその他の公園の維持管理運営																				
事業の実施方法	☒ 直営			☒ 一部委託			☐ 全部委託			☒ 指定管理			☒ 補助金・負担金等			☐ その他（			）		
連携事業及び 関連事業の有無	☒ あり（以下に記載すること）			☐ なし																	
	事業番号		事務事業の名称				事務事業の概要												【連携事業】 一体的に実施している事業 【関連事業】 関係が深い事業		
	3757		双海地域公園管理運営事業				ふたみ潮風ふれあい公園の維持管理運営														
	3759		県施設公園井杏里運営事業				県施設公園の維持管理														
本事業とSDGs (持続可能な開発目標) との関連性	☐ ゴール 1	貧困をなくそう				☐ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに				☐ ゴール 13	気候変動に具体的な対策を									
	☐ ゴール 2	飢餓をゼロに				☐ ゴール 8	働きがいも経済成長も				☒ ゴール 14	海の豊かさを守ろう									
	☐ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を				☐ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう				☒ ゴール 15	陸の豊かさを守ろう									
	☐ ゴール 4	質の高い教育をみんなに				☐ ゴール 10	人や国の不平等をなくそう				☐ ゴール 16	平和と公正をすべての人に									
	☐ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう				☒ ゴール 11	住み続けられるまちづくりを				☐ ゴール 17	パートナーシップで目標を達成しよう									
	☐ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に				☒ ゴール 12	つくる責任つかう責任														

前回評価の振り返り

評価年度	事業遂行に係る課題・改善点		⇒	課題解決に向けた具体的な方策等		⇒	左記に対する対応状況	
令和 4 年度								
最終判断								
現状維持								

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

事業費の内訳

項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求		節	細節	事業費（千円）				摘 要	
									R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	※代表的なものを簡潔に	
予 算	当 初 予 算	93,239	117,919	119,366	98,116	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の								
	補 正 予 算	50,570	0	0	2,500		給料	一般職給（会計年度任用職員）	2,134	2,184	2,465	2,761		
	前年度から繰越	0	0	0	14,150		職員手当等		395	237	814	979		
	予 備 費 等	0	0	0	0		旅費					3		
	計	143,809	117,919	119,366	114,766		需用費		4,405	4,049	7,265	5,725		
決 算	執 行 額	139,879	167,594	103,234			役務費	手数料	292	289	348	436	不燃物処分手数料等	
	翌年度へ繰越	21,379	0	13,514			委託料		77,425	70,820	73,283	74,902	しおさい公園指定管理業務等	
財 源 内 訳	国庫支出金	0	36,000	3,925	10,329		使用料及び賃借料		598	598	598	598	公園借地料	
	県 支 出 金	0	0	0	0		工事請負費		47,794	89,249	8,028	28,578	谷上山公園複合遊具更新工事等	
	地 方 債	0	42,700	3,900	16,500		備品購入費	機械器具費	6,810	0	10,307	357	バレーボール支柱用安全パッド購入	
	そ の 他	756	1,383	6,654	87,846		負担金・補助及び交付金	負担金	26	168	119	427	市民のふれあい広場整備事業補助金等	
	一 般 財 源	139,123	87,511	88,755	91		公課費				7	0		
	執行率（％）	114.3%	142.1%	97.5%										
当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合（％）		97.3%	142.1%	86.5%										
正規職員の人工数		0.85	0.85	0.85										
1人当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895		上記以外の事業費合計							一般事務費、上記で書き表せないもの	
※ 執行額＋人件費		146,504	174,194	109,945		事業費の総計				139,879	167,594	103,234	114,766	

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標		単位	目指す 方向性	R 4	目標 実績	R 5	目標 実績	R 6	目標 実績	達成度		令和 4 年度の振り返り	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り	
	指標 ①	今年度の利用人数÷前年度の 利用人数(しおさい公園+五色浜 プール)	人		100,178		113,875		127,610		目標達成 (100%以上)		活動 成 果 や 課 題 等	壊れてから修繕費用を捻出するより、日ごろから定期的に点検と手入れを実施するほうが施設の長寿命化と費用の縮減に寄与するため。「予防保全型」の維持管理に努める。	壊れてから修繕費用を捻出するより、日ごろから定期的に点検と手入れを実施するほうが施設の長寿命化と費用の縮減に寄与するため。「予防保全型」の維持管理に努める。	指定管理者の変更に伴い、施設の維持管理及び修繕において計画協議を行い、施設の長寿命化と費用の縮減に努める。
					113,875		127,610		140,321							
	指標 ②															
	指標 ③													課題への改善提案	長寿命化計画の見直しを行ったことにより、ラフサイクルコスト算定を行い、あらかじめ予防保全管理を行う公園施設と事後保全型管理を行う公園施設に分類し、計画的に管理を行うこととした。	長寿命化計画の見直しを行ったことにより、ラフサイクルコスト算定を行い、あらかじめ予防保全管理を行う公園施設と事後保全型管理を行う公園施設に分類し、計画的に管理を行うこととした。
指標 ④																

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果		活動成果の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R	4	目標実績	R	5	目標実績	R	6	目標実績	達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
	長期成果	指定管理者と協力し更なる利用者の増加を図る	指標①	施設の利用者数増加	%		101			101			101			目標達成 (100%以上)	
							114			112			110				
			指標②														
			指標③														

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	3	評価点ランク		A	事業遂行に係る工夫点・事業成果
			市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である		S	11 ~ 12		プール事業を再開したことにより、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、利用者に安心、安全な利用をして頂けるよう対応を工夫した。（受付時検温等）
			サービス主体の妥当性	4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない		A	9 ~ 10		
		有効性	成果指標の達成状況	4 目標を上回って達成できた（100%以上の達成） 3 概ね達成できた（80%以上の達成） 2 やや達成がでなかった（50%以上の達成） 1 達成できなかった（50%未満の達成）	4	評価点ランク			事業遂行に係る課題・改善点
			成果向上の可能性	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない		S	11 ~ 12		新型コロナウイルス感染症の影響により、公園利用者数が減少している。
			市民等への影響	4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなくしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなくしても、市民・団体等への影響はほとんどない		3	A		
		効率性	手段の最適性	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	4	評価点ランク			
			コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である		S	11 ~ 12		今後は情報媒体を通じ、利用促進を図る必要がある。
			受益の適正性	4 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない、又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない		3	C		
		担当者			D	3 ~ 4			
	一次判定	自己判定結果の確定			□ 上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します				所属長の所見
		貢献度	S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は弱い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が期待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	判定区分	S 非常に高い	A	都市公園は、開設から30年以上経過した公園が多く、施設が老朽化しており、令和6年度末にグラウンドの陥没が発生している。長寿命化計画に基づき、国の交付金を活用して施設の改修を実施しているが、定期的な施設の点検・適正な管理を実施することにより、事故を防止し、快適な利用環境を確保する必要がある。		
	重要度	S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	A 高い		A				
	所属長			B 普通		A			
				C 低い	D 非常に低い				